



Mark Helweg

マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度国際ロータリー会長

No. 33 the Rotary Club of
Takasago, Japan

週報

高砂

クラブ会長方針

“つながりを太く強く”

- ①例会を大切に
- ②共助で活動を
- ③チームワークでI.M.を成功に

休会通信③ 地区補助金臨時費プロジェクト (2020. 5. 26 (火))

新型コロナウイルスに向き合う医療現場への防護服提供 高砂市医師会に寄贈



5月26日(火) 13:30より、高砂青松RC佐野会長と共に高砂市医師会館にて、地区補助金臨時費プロジェクトの寄贈品である防護服(プラスチックガウン)を高砂市医師会増田章吾会長にお届けしました。

◆会長メッセージ

地区補助金臨時費（新型コロナウイルス対応）のプロジェクトをようやく実行できました。この紙面にて報告し、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

1) 増田会員と納入業者への感謝

4月20日に申請募集の案内を受信し、高砂市医師会の会長をなさっている増田会員にご意見をお伺いしたところ、「支援いただけるなら助かる」というご返答に、申請を即決しました。求められる声があればアクションは起こせませんでした。まずは増田会員に感謝いたします。また、この度の募集は地元における新型コロナウイルスへの対応支援が目的で、「ロータリアンの直接的関与」が条件とならず、寄贈のみの事業も認められたので、医師会に対する物資の寄贈と決め、不足している物資についてお尋ねし、防護服（プラスチックガウン）に絞り込みました。病院と取引のある納入業者は大量の納品が難しいとのことでしたので、インターネットで調べ、対応いただけるメーカーを直接探すことにしました。問い合わせに真摯に対応してくれたのがサラヤ株式会社でした。そして代理店として見積りに応じていただき、最安値を提示してくれたのが宮野医療器株式会社でした。この2社の協力がなければ補助金の申請および物資の調達は間に合いませんでした。



2) 両ロータリークラブ会員への感謝

申請を決めると同時にお声掛けさせていただいたのは、高砂青松RCの佐野会長です。佐野会長は二つ返事で「協同提唱クラブ」としてのご協力に賛同して下さいました。また、今回は物資の寄贈のみで事業は成立するものの、会員の方々にも何か関わりを持っていただきたいという思いがあり、寄せ書き式の「お届け状」への署名やメッセージのご記入による参加をお願いしたところ、多数の方に休会措置中にも拘らず商工会議所に出向いていただきご協力いただきました。感謝申し上げます。ご都合のつかなかった方や違和感を覚えられた方には、私が困惑される発案をいたしましたこと、お詫び申し上げます。



3) 寄贈先の高砂市医師会への感謝

物資を寄贈した高砂市医師会からは感謝状をいただきました。そして防護服は中国で生産されており、納品に時間を要しています。全数の納入まで今しばらくは都度の預かりと分配でご対応をいただかなければなりません。木村事務局長様をはじめ事務局の皆様方にもご協力をいただいておりますことをご報告いたします。



会長：脇谷 政孝 幹事：堀 直樹
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長：増田 章吾
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
<http://takasagorc.starfree.jp/>